

第1項

観光の振興



目標

だれもが再び訪れてみたい観光交流のまち

数値目標

年間総観光客数	2005年 617万人
	2011年 660万人

取り巻く環境（現状と課題）

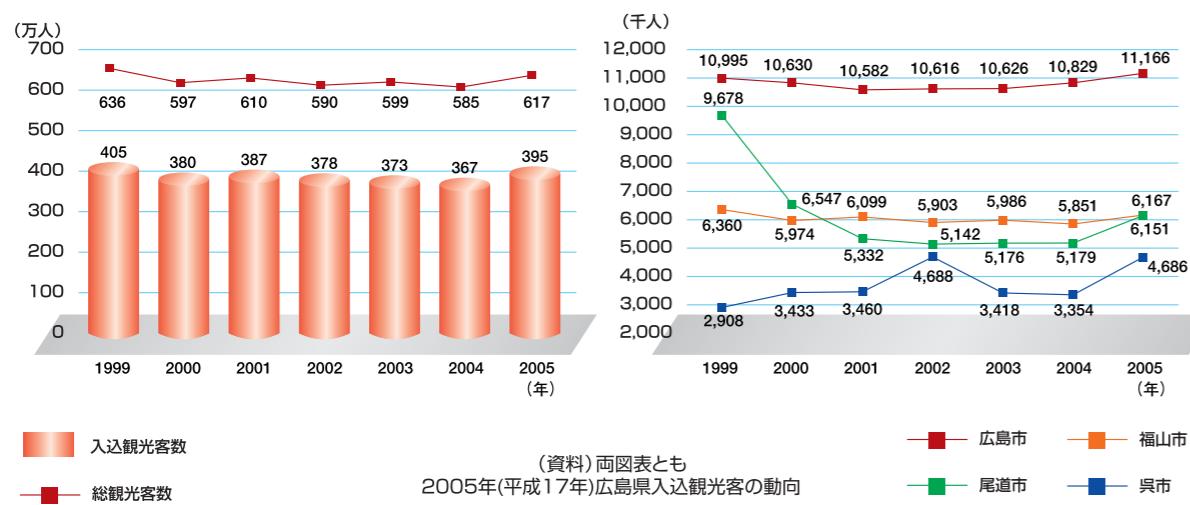
豊富な観光資源に対する期待の高まり

本市の豊富な観光資源は「福山らしさ」を創出するものとして期待されていますが、そうした観光資源を十分に活かしきれていない状況にあります。今後は、他の地域にはない「福山らしさ」を創出し、効果的に情報発信を行っていくことが必要です。

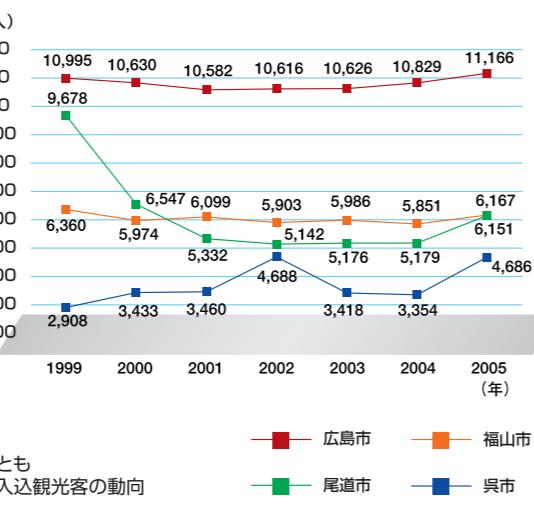
「もてなしの心」の体制づくり

「福山を再び訪れてみたい」と感じる市民あげての「もてなし」の体制づくりや、来訪者のニーズに対応した観光資源の整備と活用が必要です。

福山市の観光客数の推移



県内主要都市の総観光客数の推移

(資料)両図表とも
2005年(平成17年)広島県入込観光客の動向

「目標」を達成するための取組

観光魅力の創造

地域の特性を活かした魅力あるまちづくりや個性的で快適な都市空間の形成など、観光の魅力を創出し、戦略的に観光振興に努めます。

観光客誘致の促進

広域観光も視野に入れた魅力ある観光商品の開発や全国規模の大会の誘致などを進めます。また、観光関係団体との連携の強化などを行います。

市民あげてのもてなしの心づくり

観光客が再び訪れたくなるように、市民の「もてなしの心」を高めるため、観光にかかわる人材の育成やふるさとの良さを再発見できる取組などを進めます。

受入環境の整備

だれもが気軽に楽しめる観光を提供するため、ユニバーサルデザインに配慮し、地域の景観・特性に合った観光案内標識や駐車場などを整備します。

- 福山ブランドの確立

- 歴史的地区の整備・保存【再掲】(1-3-2)

- 産業観光の促進

- 体験型・滞在型観光の開拓・促進

- 観光商品の開発と宣伝の充実

- コンベンション誘致の推進

- 観光誘客促進体制の整備

- 人材育成の推進

- もてなしの心の醸成と実践

- 郷土愛の育成

- 観光関連施設の整備・充実

- 観光案内機能の整備・充実



市民として

観光客に心温まる応対をしましよう。



鞆の浦弁天島